

日本物理学会 2009 年秋季大会：誘電体分科インフォーマルミーティング

日時：平成 21 年 9 月 26 日（土）17:00～18:00

場所：熊本大学黒髪キャンパス YJ 会場

参加者：30 名程度

◆ 議題

1. 次回シンポジウム等の企画
2. 次々期世話人
3. 学会の報告・案内
4. 物理学会からの報告・提案
5. 連絡事項
6. その他

◆ 協議事項

1. 次回シンポジウム等の企画
 - 1.1 第 65 回年次大会（於：岡山大学）でのシンポジウム、招待講演についてメーリングリストで募集した。
 - 1.2 現在までに寄せられた提案は、シンポジウム・招待講演・企画講演ともに 0 件である。
 - 1.3 申込のメ切（10 月 31 日）までには、まだ時間があるので、是非前向きにご検討をお願いした。

補足（世話人より）

本来であれば、提案を受けメーリングリストでの意見交換の後に本シンポジウムでの承認となる流れであるが、提案がないため、この後に提案が出ればメーリングリストで意見交換と承認を得るながれとなることを了承いただいた。

参考）招待講演・特別講演、シンポジウム提案申請までの流れ

- ①. シンポジウムの企画発案者は提案書（案）を世話人に提出する。
- ②. 世話人関係者で提出された提案書（案）に対し意見を出し合う。
- ③. 参考意見をもとに、発案者が提案書（案）を手直しして、世話人に再提出する。
- ④. 世話人は誘電体分科構成員（メーリングリスト登録者）に対して、提案書（案）を電子メールで公開する。構成員は、提案書に対する各人の意見を世話人に提出するか、あるいは誘電体分科のインフォーマルミーティングに向け準備する。
- ⑤. 提案書（案）についての実質的な審議は誘電体分科のインフォーマルミーティングで行う。インフォーマルミーティングの了解が得られた後に、提案者は物理学会のホームページから提案申請を行う。

2. 次々期世話人

- 2.1 次々期世話人（任期：2010年5月～2011年4月）をメーリングリストにて募集した。
- 2.2 本インフォーマルミーティングでの推薦は挙がらなかった。
- 2.3 世話人グループからの推薦として、森分博紀先生（ジャパンファインセラミックスセンター）を提案した。賛成多数で森分博紀先生にお願いすることで承認された。

3. 国際会議の案内、国内外の誘電体関係の動向

3.1 【これまで】

- PFM-2009
Piezo Microscopy & Nanoscale Phenomena in Polar Materials
PLACE: Aveiro - Portugal
DATE: June 23 to 27, 2009

- CICC-6
The Sixth China International Conference on High-Performance Ceramics
PLACE: Harbin - China
DATE: August 16 to 19, 2009

- IMF-ISAF-2009
Joint meeting of 12th International Meeting on Ferroelectricity and 18th IEEE International Symposium on Applications of Ferroelectrics
PLACE: Xi'an - China
DATE: August 23 to 27, 2009
参加者人数：(合計) 701名 (一般：405、学生：296)
(アジア：72.8%、ヨーロッパ：21.4%、米国：5.6%他)
発表件数：(Abstract 申込件数：1118件、発表およそ1000件)

- ISDS'09
The Third International Symposium "Micro- and Nano-Domain Structuring in Ferroelectrics"
PLACE: Ekaterinburg - Russia
DATE: September 07 to 10, 2009

- ISFP2009
XXX Jubilee International School on Ferroelectric Physics
PLACE: Przesieka (in mountains near Jelenia Gora-Wroclaw) - Poland
DATE: September 14 to 18, 2009

- ISFP-6
Sixth International Seminar on Physics of Ferroelastic Crystals
PLACE: Voronezh - Russia

DATE: September 22 to 25, 2009

3.2 【これから】

■ RCBJSF-10 第 10 回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム

日程：2010 年 6 月 20 日～24 日

場所：東京工業大学すずかけ台キャンパス

アブストラクト締切：2010 年 1 月 20 日

登録締め切り (early bird)：2010 年 4 月 1 日

■ AMF-AMEC-2010

Joint International Conference on The 7th Asian Meeting on Ferroelectricity and The 7th Asian Meeting on Electroceramics

日程：2010 年 6 月 28 日 (月) ～7 月 1 日 (木)

場所：Jeju Island, Korea (韓国、済州島)

アブストラクト締切：2010 年 1 月 31 日

■ The 8th Korea-Japan Conference on Ferroelectricity

日程：2010 年 8 月 3-6 日

場所：姫路

■ ISAF-19

ECAPD (European Conference on Applications of Polar Dielectrics、2 年 1 回)と共催

日程：2010 年 8 月

場所：Edinburgh (スコットランド)

Chair: Prof. Andrew Bell

■ IMF-13

日程：2013 年

場所：Krakow, Poland (ポーランド、クラカフ)

Chair: Prof. K. Roleder

4. 物理学会からの報告・提案

4.1 次期領域代表と副代表について、代表は野田幸男氏 (東北大学、現副代表)、副代表は前田康二氏 (東京大学、格子欠陥分科)。

4.2 物性領域プログラム小委員会

5 月 27 日 (水) に開かれた物性領域プログラム小委員会において 2 件のシンポジウムが採択 (条件無) となったこと、領域委員会においてフォノン物性分科の世話人数の変更 (2 名から 1 名) が了承された。

4.3 領域 10 の若手奨励賞の応募は 7 月 31 日で締め切られ、現在応募者について若手奨励賞選考委員

会により審査を行っている。

4.4 次期領域 10 連絡係の選出について

任期：2009 年 10 月 1 日より 2010 年 9 月 30 日

X 線・粒子線分科の世話人より選出される予定である。

(補足：次期領域 10 連絡係は中島健二さん (J-PARC センター) が引き受けてくださることになった)

4.5 フォノン物性分科の名称変更について

同分科世話人より分科名称を「フォノン物性」より、「フォノン」に変えたいとの説明があり了承された。

4.6 若手奨励賞の年齢制限について

現在の日本物理学会賞若手奨励賞 領域 10 選考要項 (2006.9.19)の受賞資格「37 歳以下」について、年齢を引き上げたいとの要望があることから、各分科で意向を調査することになった。

4.7 物理学会「領域世話人」の名称、並びに任期 (5 月 1 日、11 月 1 日交代) の検討

- 1) 名称については「領域運営委員」が妥当であるとの結論に至った。
- 2) 任期については現行を希望する意見と人事異動の時期 (4 月 1 日、10 月 1 日) にする意見が拮抗している、ためさらに継続して意向を調査することになった。

5. 連絡事項

5.1 代議員の推薦について：名工大の岩田先生が第 65 期～第 66 期代議員にご当選

5.2 ポスターセッションの復活に成功：今回の発表件数—20

5.3 領域 8 との共同セッションの進展：筑波大の狩野さんから説明があった。

5.4 第 65 回年次大会

- 開催地：岡山大学
- 期日：2010 年 3 月 20 日 (土) ～23 日 (火)
- IM の申込期間(web 予定、世話人が対応する)：10 月 9 日 (金) ～11 月 27 日(金)
- 招待講演、企画講演、シンポジウム企画 (web 受付)：10 月 9 日 (金) ～10 月 31 日(土)
- 一般講演 申込期間
郵送 11 月 6 日 (金) ～ 11 月 20 日 (金) 17:00
Web 11 月 6 日 (金) ～ 11 月 29 日 (日) 17:00
- 講演概要集原稿締切：郵送, pdf とも 1 月 22 日 (金) 必着
詳細は学会誌 10、11 月号に掲載予定。
期日に関しては誘電体メーリングリストでも案内する。
- 第 65 回年次大会プログラム編集会議
- プログラム編集会議 12 月 11 日 (金) →世話人 (谷口、森) で対応する。
- 講演順序、日時などの申し込み後の変更は世話人まで連絡のこと。

6. その他

特になし

以上